

第4回 播磨町長期総合計画審議会

開催日時	令和2年9月25日（金）午後3時00分～4時30分
開催場所	播磨町中央公民館 視聴覚室
出席者	<p>【長期総合計画審議会委員】</p> <p>田端 和彦（兵庫大学・兵庫大学短期大学部 副学長） 正木 隆資（播磨町商工会 副会長） 佐伯 亮太（播磨町まちづくりアドバイザー） 高木 利浩（播磨町連合PTA協議会 会長） 草部 芳彦（播磨町社会福祉協議会 副会長） 田中 達郎（播磨町自治会連合会） 尼木 智美（NPO法人スポーツクラブ21 はりま 理事） 藤本 徳子（播磨町連合婦人会 会長） 津村 道彦（公益社団法人加古郡広域シルバー人材センター 事務局長） 松井 佳子（播磨町人権擁護委員） 森田 孝明（播磨町社会教育委員） 田尻 美恵子（播磨町教育委員会教育委員） 井澤 妙子（住民委員） 正願 智教（住民委員） 井上 晴喜（住民委員）</p> <p>【町】</p> <p>清水 ひろ子（町長） 岡本 浩一（理事） 松本 弘毅（企画グループ統括） 野中 照代（企画グループリーダー） 大友 敬（企画グループ主事）</p>
欠席者	なし
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）総合計画策定スケジュールについて</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）第5次播磨町総合計画基本計画素案について</p> <p>4. 閉会</p>
資料	<p>資料1 播磨町長期総合計画審議会委員名簿</p> <p>資料2 第5次総合計画策定各種会議スケジュール（修正後）</p> <p>資料3 第5次播磨町総合計画 序論・基本構想</p> <p>資料4 第5次播磨町総合計画 基本計画素案</p>

1. 開会

- ・事務局より開会あいさつ

2. あいさつ

【町長】

新型コロナウイルス感染症は、社会生活にも地域経済にも依然として大きな影響を及ぼしているが、町でも様々な対策を積み上げているところである。本日の会議もマスク着用ということで、大変ご不自由をおかけすることになるがご理解いただきたい。

現在、国勢調査が行われているが、本町の人口は微増を続けている。県下の町では一番多い人口で推移しており、まだまだ元気で活気のある町だと思っている。

総合計画は、これから10年間の町の指針ともなる大切な計画である。皆様方から忌憚のないご意見を頂戴し、実のある会議となるようお願い申し上げます。

【会長】

前は基本構想までの話をしたので、本日はもう少し具体的などころまで、それぞれの立場から忌憚のないご意見を賜りたい。

先ほど人口の話があったが、人口フレームはこの計画の中では非常に重要な要素である。ある程度人口を維持できていることは今後の10年間を見据える上においても重要な視点である。その辺りも含めて、皆様のご意見を賜りたい。

- ・事務局より資料の確認

3. 議事

【会長】

本日の議事録の署名を、高木委員、井澤委員にお願いしたい。

(1) 総合計画策定スケジュールについて

(資料2について事務局から説明)

【会長】

確認だが、議会への上程は2月で間に合うのか。

【事務局】

総合計画の内容については2月臨時会で議決を得る予定であるため、特に問題ないものとして進めている。ただ、総合計画の冊子についてはデザイン等もあるため年度内の納品は難しいことから、9月臨時会で明許繰越しをして納期を5月末までに変更した。

【会長】

総合計画の決定は年度内だが、町民への通知は少し遅れるかもしれない、という理解でよいか。

【事務局】

はい。総合計画概要版の全戸配布を考えているが、それが当初の予定より若干遅れる見込みである。

【町長】

議会に上程はするが、この審議会で決定したものを議決事項とするので、それを踏まえた上でご意見を頂戴したい。

【会長】

時々議会で否決される場合もあるので時間を要することもあると聞くが、総合計画は議会からも同意を得られやすい案件ということである。

(2) 第5次播磨町総合計画基本計画素案について

(資料4について事務局から説明)

【会長】

第3回審議会での議論の末、基本計画素案が作成された。基本政策の下、方向性が示されている。先ほど事務局からも説明があったように、分野ごとの計画もあるが、この総合計画ではどのような姿が望ましいかというビジョンを描くため、細かい所よりも全体的に見て考えていく必要がある。まず基本政策1について、何かご意見やご質問はないか。

【委員】

いろんな施策を提言されているが、その前に核となる人を育成するような形がなければ、せっかくの町の財産が活かさないのではないか。協働で取り組むために住民の関心を高める施策が必要だと思う。

【会長】

例えば、「1. 地域福祉の充実」の「目標2 住民相互の助け合いを推進する」は主役が住民や民生委員・児童委員であるが、これで十分なのか。それとも専門職が必要であると考えているのか。もう少し具体的に何かあればご意見を賜りたい。

【委員】

地域の民生委員・児童委員は非常に重要な役割を担っているが、なり手の問題とか、委員の活動自体が難しいとか、大変苦勞が多いようなので、もう少し支援する人や組織のようなものが必要ではないかと感じる。

【会長】

地域に根ざす方々をサポートするような仕組みが必要ではないか、というご意見であった。

【委員】

全国的にボランティアだけでは募金活動が厳しくなっているので、その分配について関係機関と話し合う等、財源確保にご協力いただきたい。

また、相談をするのは社会福祉協議会と役場の福祉グループのどちらなのか、非常に分かりにくい例が多いので何か具体的に表すものがないか、ご検討いただきたい。

【会長】

まず1点目の共同募金は社会福祉協議会の財源の大部分を占めているが、減少傾向にあり大変厳しい状況である。

【委員】

特に今年はコロナの関係で訪問できないのが大きな要因であろうかと思う。

【会長】

2点目が社会福祉協議会と役場の役割分担だが、事務局から回答があればお願いしたい。

【町長】

行政だけでできることは限りがあり、まちづくりは行政と地域の方々と協働で行うことが大事だと思っている。いろんな方々にお力添えいただきたいと思っているので、民生委員・児童委員だけに委ねているわけではない。福祉の分野では地域と当事者との間を繋ぐため、町としても保健師の増員等で手厚くサポートしているが、本当に必要とされる方に届くためには地域や各種委員との連携も大事だと考えている。

社会福祉協議会にも様々な事業を委託しているが、昨年、町の直営に戻した福祉会館については総合相談窓口を充実させていき、将来的には福祉を総合的に担ってもらえる団体等に委ねたいと思っている。

また、困窮した方には生活保護等様々な施策があるので、悲惨な状況を作り出す現状ではないと思っている。

【会長】

相談は、いわゆる児童・高齢・障がいの3分野において共通しており、その包括という形で地域という位置づけになっている。

【委員】

今、我々の世代として不安に思っているのが、自治会の未加入やボランティアの高齢化・固定化で若い世代が地域に参加できていない状況にあること。しっかり次世代に繋がられるように、町が方向性を示すようなものがあればと思う。

【会長】

地域福祉力向上のためのステークホルダーの拡大ともいう。ある自治体では自治会関連の促進条

例みたいなものを制定することで行政が介入しているところもある。自治会にすべて任せるのではなく、もう少し行政が介入して支援するような形もできるのではないかというご意見であった。

【町長】

自治会への未加入者は増加しており、構成メンバーも変わってきているので、今後の運営は難しいところがあると思う。本来なら町職員が出向いてコンタクトをとることができれば良いのだが、それがなかなか難しいということで、今年度から「まちづくりアドバイザー」を配置した。自治会にダイレクトに働きかけて関わってもらいたいと思っている。

【委員】

まちづくりアドバイザーに就任された佐伯委員の存在は去年から知っていて、このような方が播磨町に10人くらいいればいいのに、と思っていた。

【町長】

まちづくりアドバイザーとして成功例を積み上げていただきたい。将来そのような役割の人をさらに行政の中で増員していても良いと考えているので、ぜひ期待していただきたい。

【委員】

コロナの影響もあってなかなか動きにくい状況だが、7月に自治会活動の実態について全自治会長にアンケートを取った。その後の意見交換で分かったのは、播磨町は自治会で独自のルールがしっかりできている、ということ。多くの自治会長が「他の自治会のやり方を教えてほしい」とか「助言が欲しい」という意見を挙げていた。今年度下半期は自治会運営の手引みたいなものを作り、初めて自治会に入る人のサポートができればと考えており、また、それらを行政と自治会連合会が一緒にすることが重要ではないかと思っている。

【会長】

行政だけではできないことをどのようにしていくのか、福祉分野では特にそういうことが多くなってくるが、基本政策3にも係る部分なので、その際にもご意見いただこうと思う。

【井澤委員】

新しい感染症に対する取り組みについて、地域医療の体制はどうか。

【会長】

医療に関しては県レベルで医療圏を考えているので、町単独としての回答は難しいかと思うが、感染症のように住民と一緒に取り組まなければならない部分については、基礎自治体に関わる部分が多いかと思う。住民の理解ある医療という考え方もあっていいのではないかと思う。事務局からご回答をいただきたい。

【町長】

町だけでは担えない部分は広域で充実させていくが、本町の医療環境も病院の誘致等で以前に比

べるとかなり整ってきている。行政としてできることは、普段から個人が健康に気を付けてもらうようにサポートすることだと思う。また、NPO 法人スポーツクラブ 21 はりまでもいろいろなことをされている。

【委員】

県レベルではなく、播磨町としての対応があればと思ったのだが。

【会長】

医療は広域的に取り組んでいるところだが、播磨町で新型コロナウイルスの感染者が 1 名だけであったのは自治体レベルで住民とコミュニケーションがきちんとしていたということだと思う。また、基礎体力や免疫力を高める工夫も必要だと思うが、その辺りについて、委員からご意見があれば伺いたい。

【委員】

NPO 法人スポーツクラブ 21 はりまでは、健康寿命の延伸を目的に 100 歳体操などもこちらから出向いて指導を行っており、それは今後も継続していくつもりである。

【会長】

時間も限られており、ご意見は後日文書で頂戴することも考えているので、次に進みたいと思う。基本政策 2 についてご意見、ご質問はないか。

【委員】

播磨臨海地域道路のルートが出されたが、それに伴うインフラ整備について何かあればお教えいただきたい。

【町長】

播磨臨海地域道路の要望は 10 年以上前から姫路市を中心に進めてきた。町としては町内を通過する明石ルート 2 案に反対していた。なぜなら、その場合、町域のかかなりの部分が道路になってしまい、人工島や臨海部にある企業や多くの住宅地に影響が及ぶためである。住民や企業の利便性を高めるために都市計画道路と播磨臨海地域道路をどのように接続させるかが今後の課題になる。詳細が分かれば広報等でお知らせする。

【会長】

関西の高速道路の周辺道路が万博に合わせて造られたように、こちらの道路も次の 2025 年の万博に合わせて整備が進んでいくかもしれない。

私から 1 つ、上下水道について。水道施設の老朽化による漏水問題が先進国では大きな問題になっているが、播磨町ではその辺りも長期計画があるという理解でよい。

【町長】

上下水道グループでは既に計画を策定しており、今後委員会も開催する予定だが、水道料金の値

上げも実施する時期が近付いていると感じている。現在も、区域を選定しながら整備を進めている。

【会長】

町財政も含めた形で検討、計画ができているという理解でよいか。

【町長】

はい。将来的な値上げもせざるを得ない時期が来るかもしれない状況である。

【委員】

「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」とあるが、どのようなことを対象に考えているのか。例えば、住宅地と道路に段差がある歩道は電動車いすでは危険だと思うが、そのことまで考えているのか。単に障害や段差を無くすだけになっているのではないかと感じる。

【事務局】

現在は土地柄、いろんな場所がある。一度に全てをバリアフリーにするのは難しいので、県のバリアフリー化の計画にも沿う形で道路や施設の改修を順次進めていく予定である。

【会長】

住民満足度とあるが、この場合車いすの方の満足度にも目を向けて議論する必要がある。

【町長】

道路はそのような状況だが、建物については役場庁舎の議場やトイレの改修、中央公民館のエレベーター設置など少しずつだがバリアフリー化を進めている。

【委員】

バリアフリーは段差を無くすだけでなく当事者の意見も反映できれば良いと思った。

【町長】

そのような方からの意見を聞く場も設けているが、バリアフリーが十分でないところは手を添えるような気持ちを持った人たちが増えれば、かなりバリアは軽減されるのではないかと期待している。

行政としてハード整備はもちろん、バリアフリーに対する啓発なども同時に進めていきたいと思っている。

【会長】

インフラ関係のご意見を多く頂戴したが、環境や産業に関してのご意見はないか。

【委員】

播磨町の特産品でもある「干しだこ」をPRするために、食のイベント等ができれば地域振興にも繋がるのではないか。干すのが手間という話を聞いたので、その仕事のマッチングができれば、

もう少し振興ができる。播磨町は住みやすいが名物が力不足ではないかと思う。

【町長】

以前は干しだこの長期保存はできなかったが、今は真空パックのものを購入できるようになったのでその広報をもう少しした方が良いかもしれない。

現在、石ヶ池パークセンターをリニューアルしており、先日ライオンズクラブからピザ窯を寄贈してもらったので、今後いろいろと展開していく中で播磨町の様々な特産品を楽しめる場所にできればと思う。また、それらが成功すれば望海公園や野添であい公園にも広めていきたいと思う。

【委員】

播磨町には土山駅と播磨町駅がある。そこに名産物の看板を設置する等、もっと有効活用する方法を検討されてはどうか。

【町長】

今後、PR方法等も一緒に考えていきたいと思う。

【委員】

私も子供を連れて公園に行くと親御さんから「公園で地元のを食べられたらいい」という話をよく聞く。地元業者が公園で販売できるようになると地元のものに触れられる機会が増え、いい循環が生まれるのではないかと考えている。まずは石ヶ池公園で展開していこうと思うので、ご興味のある方は一緒にできればと思う。

【会長】

PRがもう少し必要で、地元産業の活性化については何か具体的なものがあれば、というご意見であった。

【委員】

イベントも単純に収益を上げるためならいいのだが、町を盛り上げるためなら、逆に町外の人が来過ぎて困ることはないか。駐車スペースや他の問題も出てくると思う。

【委員】

極端に集める必要ない。

【委員】

程よい人数が集まって、盛り上げるようにした方がいいと思う。

【町長】

駐車場等の周辺整備は大事だと思う。石ヶ池公園についても駐車場が十分ではない。望海公園も再整備するので他市町から多く来られると思うが、駐車場は無料にしている。今後様子を見ながら調整していきたいと思う。また施設に不足しているところがあれば後日でも結構なので教えていた

だきたい。

【会長】

産業振興において何を目標にするのか。もしビジョンがあれば計画に盛り込んでもいいかと思う。では次に、基本政策3について何かご意見はないか。

【委員】

教育の基本はやはり確かな学力保障と生涯にわたって豊かな心身、体、心づくりだと思う。これは10年前から不変のものだと思うが、今は支援を必要とする子どもや家庭が増加している。それには専門機関と連携もしていきながら、学校運営協議会にも期待していきたいと思っている。

子どもを取り巻く環境は変化し続けており、それに伴う課題も増えている。学校でも対策は必要だが、子ども自身で考える力を育てていくことも必要だと思う。

【会長】

学校運営協議会では家庭や地域とどのように繋いでいくのか、役割分担等をもう少し具体的に詰める必要がある。

【町長】

数年前から総合教育会議として教育分野に町長も関われるようになった。播磨町では蓮池小学校でまずコミュニティスクールが実施されるので、地域と学校が連携して地域の子どもたちを育てていく形ができてくると思う。今後、順次他の学校でも進めていくので、その辺りが目標2に反映できればと思う。

【委員】

小中学校に「SOS ミニレター」を配布しているが、中には繊細な気持ちが書かれていることもある。それに対して私たちはどのように伝えればいいのかすごく考える。また、このように何かしら発信できる子どもに対しては何らかの形で手を差し伸べられると思うが、それができない子どもたちもたくさんいると思う。そういう子どもたちが一人でも少なくなるように「人権」を堅苦しく考えないで自然と手を差し伸べられる子どもたちが増える町になってほしいと思っている。

【委員】

婦人会ではコロナの関係で行事を中止した代わりに、町内の小学1年生用にマスクを作ることにした。しばらくして児童たちからすごく心のこもったお礼の手紙をもらった。私はこれが生きた教育ではないかと思う。勉強も大事だがこのようなことも大事で、本当に感動したので、この場を借りて話をさせてもらった。

【会長】

「心を育てる」こともこの目標1に関わる部分としてご意見いただいた。
委員、先ほどの続き等があればお願いしたい。

【委員】

今、まちづくりアドバイザーとして自治会に関わっていると、自治会と男女共同参画をどう考えるかというのは非常に重要なテーマになると感じている。播磨町は女性の自治会長も割と多い印象だが、積極的になったわけではなく、自治会長は男性になるものと思っている方が多い。しかし、これからの地域づくりを考えると平均寿命は男性より女性のほうが圧倒的に長いので、女性が元気に活躍できる地域社会というのが重要になってくる。そのため、男性中心に運営してきた村のルールみたいなものを変えて女性も参加しやすい自治会がつかれないかと思っている。

【会長】

1986年の雇用機会均等法以来、経済面でもまだ格差がある。地域の部分も少し遅れており、その辺りを目標として考えてみる、というご意見であった。

【会長】

本日ご意見できなかつたものや改めて見て疑問点やご意見があれば事務局へ、電子メールやファクス等文書に残る形をお願いしたい。

本日はいろいろとご意見を賜りましてありがとうございます。基本目標部分については大きく変更することはないかと思うが、それに関わる具体的なところが思った以上に影響があると感じた。事務局で取りまとめて反映していただき、詳細な事務事業についてはこの後作成する年度ごとの事務事業計画に反映していくことを約束させていただければと思う。

本日委員の皆様にご審議いただきましたご意見をもとに、より良い計画の策定に向けて進めていきたいと思う。これをもって本日の審議を終える。

4. 閉会

【事務局】

ご意見等、お気づきの点があれば1週間程度を目途にご連絡いただければと思う。

今回は10月29日（木）15時から役場3階のBC会議室で予定している。

（終了）